



小坂奇石 ベストセレクション

併催・県内書家作品展「奇石の言葉を書く」

特別展 10/4(土)～11/16(日)

併催展 前期 10/4(土)～26(日) 後期 10/28(火)～11/16(日)

会場 特別展 1階 特別展示室・3階 書道美術常設展示室
併催展 1階 ロビー

開館時間 9時30分～17時

休館日 月曜日(ただし10月13日、11月3日は開館し翌日休館)

展示解説 講師 立石充(当館学芸員)

日時 ①10月4日(土) ②10月18日(土)

③11月3日(月・祝)

各11時～11時30分 * 申込不要、観覧券必要。

観覧料

一般 520円(410円)

高校・大学生 360円(290円)

小・中学生 260円(200円)

()内は20人以上の団体割引料金。小・中・高校生は土・日・祝日・秋休み期間中は無料。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

主催 徳島県立文学書道館

後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社 四国放送



言の葉ミュージアム 徳島県立文学書道館

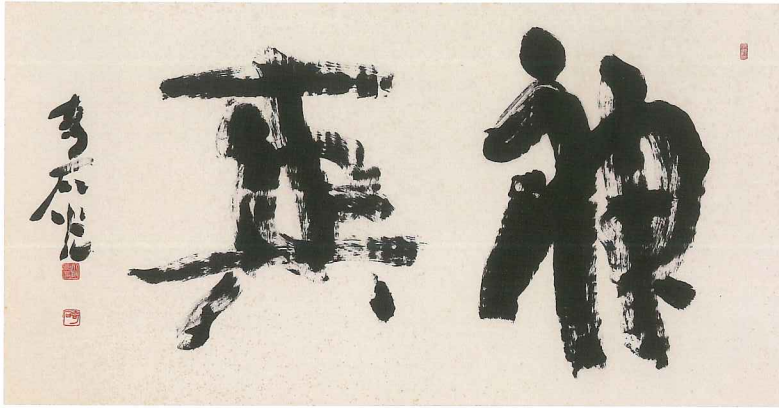
〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540



書道特別展 小坂奇石 ベストセレクション

徳島県・美波町出身で昭和時代に活躍した日本を代表する書家・小坂奇石（1901 - 91年）は「書の本質は線にある」と語り、「線の行者」として知られました。奇石ならではの線、書技、心が一体となった書は、今なお多くの人々を魅了してやみません。

今回は 500 点以上に及ぶ館蔵品の中から選び抜いた珠玉の奇石作品を展示します。



「神爽」80歳（第20回環社書展出品作）



「自作詩 探梅之詩」62歳（第8回現代書道二十人展出品作）



こさか・きせき

徳島県海部郡美波町出身。少年期に阿部捉龍に、その後、黒木拝石に師事。書道研究「環社」を設立。長年勤めた大阪ガスを定年退職後、奈良教育大学などで教鞭を執った。日展で文部大臣賞、書家として初めて日本芸術院恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。

貴重な映像を初公開

奇石の作品制作の様子を収めた映像「アトリエを訪ねて 小坂奇石」（11分。1975年、朝日放送撮影）を1階ロビーで放映します。

併催展 県内書家作品展「奇石の言葉を書く」

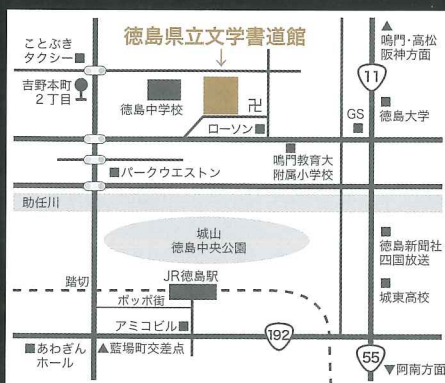
徳島県内の書家20人が小坂奇石の言葉を揮毫した作品を展示します。

前期 10/4(土)～26(日)

岩本志豪 近藤俊流 清水桂月 隅田英二 武市鳴雲 多田清芳 辻紅雲 浜佳香 弘田長風 藤田美也子

後期 10/28(火)～11/16(日)

荒井彭仙 川村春琴 木田史香 糺真理子 讃岐浩史 佐野収華 玉城乾香 長原皋月 向井京子 森光翔
(50音順、敬称略)



交通アクセス (JR 徳島駅から)

■徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号を右折して約300m(徳島中学校東隣)。

■バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

〔徳島バス〕15番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

■タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。

■駐車場 当館北側・南側に駐車場があります(62台・大型バス2台)。